



# 高校生の短期留学ホームステイ スウェーデン王国レクサンド市への旅



日本庭園（レクサンド市）で  
レクサンド高校生と記念撮影

町では、まちづくりを担う人材を育成するための基金である「当別町人材育成基金」を活用する事業の一つとして、「高校生の短期留学ホームステイ研修事業」を行っています。

研修先は前回から姉妹都市「スウェーデン王国レクサンド市」。前回の研修は、銀世界とイルミネーションがきれいな12月にレクサンド市を訪れましたが、今回の実施は5月中旬。白夜の現象も体験してきた研修生が学んだこと、感じたことなどをご紹介します。

後段では、5月下旬に当別町を訪れたレクサンド高校生2人の研修の様子もお知らせします。

## ★研修日程

5月14日～20日（レクサンド市滞在は5日間）

## ★研修生 7人

- ・町内に在住する高校生（札幌市内の学校に通学）  
町屋凜紗さん 3年、溝口野衣さん 3年  
上村涼さん 3年、生田凌介さん 3年  
高野恵さん 2年
- ・当別高校生  
猪股凌雅さん 3年、北脇仁衣奈さん 3年

## ★研修内容

- ・レクサンド高校で授業体験等（化学・木工・数学・デザイン）
- ・レクサンド市内見学
- ・ストックホルム市内見学



レクサンド高校で  
化学の授業体験



レクサンド高校生と  
「肉じゃが」「冷やしうどん」  
を調理して食べました



レクサンド  
市内の  
← 当別通り



ストックホルム市庁舎



レクサンド市内の  
日本庭園

## 研修生に聞きました！

- ・短期留学で学んだこと
- ・印象に残ったこと

### 【町屋凛紗さん】

日本の高校は普通科がほとんどですが、レクサンド高校には普通科の他にも専門学科がたくさんあります。学生の服装や髪型など自由なことが多いことから、その人の個性を認める風習がいいと思いました。積極的に英語を声に出して、自ら進んでコミュニケーションを取るという「姿勢・意識」が英語を話す自信にもつながり大切だと感じました。森に囲まれた湖の静けさはとてもきれいで幻想的でした。



### 【溝口野衣さん】

スウェーデンの人はほとんどの方が英語を話せるので、英語を話せる人が少ない日本とは大きく違うと思いました。レクサンド高校全体が自由であふれていて羨ましかったです。研修では英語を話す機会が多く、英語で意見を伝えながらコミュニケーションを取ることができ、とても自信がつけました。

左側が溝口さん



### 【高野 恵さん】

レクサンド高校は、学校や教室がとても広々としていて、授業は会話でコミュニケーションを取りながらアクティブ（活発）に進められていました。また、人が優しく、住みたい町だと思いました。今回の研修に参加することで今後の進学先が決まり、勉強する意欲もわきました。湖が本当にきれいで印象的でした。



### 【上村 涼さん】

スウェーデンの方は3～4カ国語を話せる人も多く、ホームステイ先には、私よりも一つ年下の子がいて日本語がとても上手でした。英語で会話する時にはゆっくりと話してくれるなど、人の温かさも感じることができました。レクサンド高校の授業はとてもアクティブ（活発）で驚きました。高校生のうちに短期留学に行くことは、これからの価値観が大きく変わり、とても良い経験になりました。



### 【生田凌介さん】

今回の短期留学には、自分の殻を破りたくて参加しました。英語はあまり得意ではありませんでしたが、スウェーデンの人と英語で会話したり触れ合うことに一生懸命取り組むうちに、コミュニケーションをとることに物応じしない姿勢を身につけることができました。

右側が生田さん  
左側が猪股さん



### 【猪股凌雅さん】

外国は初めてで英語にもあまり自信がありませんでしたが、実際に行ってみると英語でゆっくりと話してくれたので内容が聞き取れ、会話もできたので良かったです。将来はパイロットになりたいので、良い経験ができました。当別のスウェーデンヒルズと似た町並みに驚き、こんなに遠い場所にあるレクサンドと当別が国際交流をしていることを実感しました。

### 【北脇仁衣奈さん】

初めての外国で行く前から不安でしたが、ホームステイ先の奥様が日本人だったのでとても助けられました。英語を話せることで、いろいろな幅も広がるので、今後も英語を頑張ろうと思いました。ストックホルムではノーベル博物館（右の写真）を訪れ、学んだことが印象的でした。



さて、わかりますか？  
研修生から聞いたことなどを  
クイズにしてみました♪

**Q** スウェーデンでは、お茶を飲みながら会話を交わすひととき「フィーカ」を大切にしていますが、一般的な家庭では1日何回「フィーカ」をするでしょうか？（溝口さん談より）

**A** 正解は…一般的な家庭では午前と午後の2回です。溝口さんのホームステイ先では夕食の後にもフィーカがあり、1日3回のフィーカはとてもうれしかったそうです。レクサンド高校では、休み時間などにフィーカが自由にできるように学校で用意されているそうで、昼食時にお腹が空かないこともあったとか。



レクサンド高校の  
フィーカコーナー

**Q** スウェーデンを訪れた時期は、白夜の現象がありました。夜何時ころに暗くなりはじめたのでしょうか？（上村さん談より）

**A** 白夜とは、主に北極圏や南極圏付近で見られる真夜中になっても薄明か太陽が沈まない現象で、この時期は「午後9時半から午後10時ころ」にやっと薄暗くなり始めたそうです。上村さんは朝にきちんと起床するために、夜は明るいうちに早めに就寝していたそうで、スウェーデンの夜の暗さを見られなかったのだとか。

**Q** レクサンド市は当別の風景とよく似ていて、のどかな田園とスウェーデンヒルズのような風景が広がっていました。タンポポや白樺の木も生えていましたが、どこか違いました。何が違ったのでしょうか？（町屋さん談より）

**A** 正解は…タンポポや白樺の木は、日本で群生しているものよりも2倍くらい大きく、虫も少なく感じたそうです。



**Q** レクサンド高校の近くには、スポーツ施設が充実しており、立派なサッカー場、野球・ソフトボールのグラウンド、テニスコートがありました。他にもう一つ競技場があって驚きましたが、それは何？（猪股さん談より）

**A** 正解は…アイスホッケー場です。スウェーデンは世界的なアイスホッケー大国として有名で、スウェーデン中部ダーラナ地方で1番大きなアイスホッケー会場の Tegera アリーナがレクサンド市にあります。



**Q** ホームステイ先の庭には、子どもたちに魅力的なものがありませんでしたが、それは何でしょうか？（北脇さんの談より）

**A** 正解は…トランポリンです。スウェーデンでは、屋外トランポリンを設置している家庭は珍しいようです。

**Q** ホームステイ先の庭でゲームをして遊びましたが、それは何でしょうか？（高野さん談より）

**A** 正解は…スウェーデン生まれのゲーム「クップ」。両チーム5個ずつのクップ（角材）を自陣コートに並べて、丸棒を投げて相手コートのクップを倒しながらゲームを進めるゲームです。次の日には偶然にもレクサンド高校で「クップ」をする機会があったとか。練習の成果はあったのでしょうか…?!



**Q** スウェーデンでは、環境にできるだけ無理をさせない持続可能な社会づくりを進めていることで有名ですが、車の排気ガスを減らすために、どのような取り組みをしているのでしょうか？（生田さん談より）

**A** 正解は…自動車に頼らない、自転車や徒歩での移動を推進しています。レクサンド市街地でも「歩行者自転車専用道路」の整備が進められており、自転車がとても普及しています。

## 5月25日～6月1日 レクサンド高校生2人が来町！

当別町では毎年、レクサンド高校生を受け入れ、さまざまな体験をしていただいています。

今回は、当別高校での授業・部活動体験や北海道医療大での視察見学、町内観光などをしており、滞在は町民の方のご協力ですべてホームステイ。レクサンド市への短期留学から帰国したばかりの当別高校の猪股さんと北脇さんは当別高校内を同行し、ホストファミリーには町屋さんご家族の協力も。町屋凜紗さんは「レクサンドを訪れた時にホストファミリーに良くしてもらってうれしかったので、私も自宅で受け入れた時には楽しんでもらえるように心がけました」と笑顔いっぱいでお話してくれました。



当別神社見学と  
おみくじ体験



コンビニで  
ちょっとおかいもの



当別高で書道体験



当別高で田植え体験



当別高で茶道体験



### ☆ちょっと高校生らしい話

レクサンド市から帰国した研修生たちは、広報の取材に備えて感じたことなどを整理し、立派にいろいろなことを話してくれました。そんな中から高校生らしく微笑ましい話も聞きましたので、ご紹介します。

- ①レクサンド高校生はイケメン、美女、大人っぽい方が多い。なお、スウェーデン人の女性の平均身長は約165センチもあるのだとか。
- ②レクサンド高校には日本語を話せる子が多く、少し特徴的な話し方をする男の子がいたという話。疑問形にしなくてもいい話でも語尾に「～か？」とついたり、「どうしてか？」と聞かれるので、返す言葉に困りつつも楽しく会話し、良い思い出になったようです。
- ③日本の女子中高生など若者の間で使われている流行言葉「まじだ」<sup>まんじ</sup>。この言葉をレクサンド高校生に伝授してきたそうです（笑）

※「まじだ」とは…

可愛い、美味しいといったポジティブな感情を伝える時に感覚的に使ったり、特に意味はなくても何かしらの強調のニュアンスを伝える時に使うことが多いようです。

当別町では研修生のこれからの成長とご活躍に期待しています。次回の研修予定が決まりましたら、広報誌等でお知らせします。

#### ★問合せ先

人材育成基金・国際交流に関すること  
企画課企画振興係 ☎23 - 3042